

# 浜田教育センターです！

## 研究・研修スタッフ編



浜田教育センターは、「西部地区の教育機関」として、今年度も、学校訪問等を通して授業や研究等のお手伝いをさせていただいています。

今回は浜セの担当である数学/算数・外国語・図画工作/美術・特別活動・複式教育に対する指導主事の“思い”を伝えます！

### 「子どもの声でつくる算数・数学授業」…主役は子ども。でも、子どもを輝かせているのは先生の努力！

学校訪問に出かけると、児童・生徒のつぶやきや疑問、発見等「子どもの声」がいっぱいの素敵な授業に出会います。授業では、子ども同士が数、式、図、表、グラフ等算数・数学固有の方法で伝え合っている姿が目を見ますが、その影には「子ども主体の数学的な活動」を支える先生方の様々な仕掛けや配慮が必ず存在しています。

導入や課題の興味付け、子どもの声をつなぐ展開の工夫、こどもの「納得解」となるような終末のまとめ方などその支えは多岐に渡りますが、先生の「陰の努力」が濃くなるほど、子どもの「声の輝き」も一層強くなります。

子どもの成長を願い、明確な意図を持った取組に「失敗」はありません。「次の授業改善につながる！」と捉え、チャレンジし続けてください。私達も応援します！(M.H.)

### 子ども主体の『学び』がそこにあります！

#### ～今、再注目！複式学級の学習指導～

複式教育の特徴的な点として、「学年別指導」「ガイド学習」がよく挙げられます。特にガイド学習は、「授業の主役は子どもである」といった授業観によって成立しています。子どもが自ら課題を追究し、共に学び合う姿がそこにはあります。これは、学習指導要領で求められている授業の在り方にとても近いものではないでしょうか。

複式学級を経験されたことのない先生方、また、授業の質を高めたいと考えておられる先生方、ぜひ複式学級の学年別指導を参考に、授業改善に生かしていただきたいと思っています。(T.S.)

### 特活×教科の二刀流で、各教科等の学びを総動員！

コロナ禍の中、学校行事を見直された学校が多かったのではないのでしょうか。ある学校では、半日開催となった運動会で子ども達の思いを大切に計画・運営されたところ、保護者・地域の方は納得、そして子ども達にとっては、この年だからこそできるオンリーワンの運動会となったと聞きました。特別活動の意義を感じるエピソードでした。学級活動の話合いでは、算数で活用した意見交換の方法を使って「〇〇の意見が分からないので、もう少し聞かせて」とやり取りしていました。また、「〇〇が心配なんだけど」と相手に配慮しながら伝えたり、似ている意見を合わせたりと、各教科で培った学びを総動員して、自分たちの学級をよりよくしようとする場面に出会いました。各教科等の学びをさらに深めるためにも、特別活動や学級活動とともに進めてみてはいかがでしょうか。(M.T.)

### 子ども達の“学ぶ意欲”を後押し！

#### 先生はすてきなモデルです。

今年度、学校での授業の様子を見せていただくことができました。その中でも特に小学校での外国語の授業が心に残っています。子ども達が英語を自然に使い、話すことを楽しんでいる様子からコミュニケーションの基礎が育っていると感じます。それは先生方が指導計画のもと、授業を実際のコミュニケーションの場と捉えて指導された結果、子ども達が英語をつかっていることが増えたからだと思います。また子ども達の「できた！」を実感できる授業づくりを工夫されている様子も伝わってきます。そして多くの先生方は指導者であると同時に子ども達と同じように英語学習者として分からないことをALTに質問するなどされています。その姿は子ども達にとって学ぶ大人のモデルになっています。

このような英語を楽しく学ばれる先生方からの非言語メッセージは子ども達の学ぶ気持ちを後押しし、学びを支える強い味方になっているに違いないと感じています。(I.H.)

### 図画工作・美術を通して

#### 子どもたちの声をきいてみる。

図画工作・美術で「いいな」と思う授業にはこんな共通点があります。それは「先生が子どもたちの思いをしっかりときいている授業」です。

子どもとたくさん対話している…？そうではありません。対話だけではなく、材料や用具を触ってじっくり向き合う姿やできあがった作品、パレットの混色の様子などから、色や形に対するその子の「思い」をとらえようとしている授業です。どんな力を発揮しているのか、どのように造形の見方・考え方を働かせているのか、見ようとしないと見えてこないことってたくさんあります。それを「言わないから分からない」ではなく、いかに引き出すか、つかもうとするか、も大事です。「この子って色や形をどう捉えているのかな」「だからこんなイメージを持ったのね」と思いを“きく”ことで、その子のすごさが分かるはずです。(S.Y.)

学校に出向き、一緒に授業を創っていきたくと思っています。

ぜひご連絡ください！

